

平成21年度（2009）年度 事業報告

I 共同募金事業

1. 目標設定並びに募金実績・助成（配分）実績

（1）一般募金の計画・実績・助成（配分）

10月1日より12月31日まで実施の一般募金の計画（目標額）は、各地域の社会経済状況等を勘案し、必要最小限の福祉活動財源確保を図るべく全道で7億2,182万875円を設定（全道・広域使途計画分＝2億5,800万円、市町村地域使途計画＝4億6,382万875円）

募金実績の合計は、6億3,623万816円となった。（目標達成率で88.1%）

また、助成（配分）については、総額で5億3,336万7,180円となり、社会自立を目指す障がい者の働く場（社会的就労という機能をもつ福祉施設や地域共同作業所など）に深刻な影響を及ぼしている状況を憂慮し、作業機器・設備や搬送車両などの整備事業支援に重点をおき、身寄りのない子どもたちや母子・父子家庭への支援、寝たきりの高齢者への食事サービス、独居高齢者宅の声かけ訪問や在宅障がい者などの移送サービス等に助成（配分）した。

（2）歳末たすけあい募金の計画・実績・助成（配分）

12月1日より12月31日まで実施している歳末たすけあい募金の計画（目標額）は、各市町村ごとに展開される地域歳末計画分として2億5,089万円を設定。

募金実績の合計は、2億6,388万2,534円となった。

また、助成（配分）については、2億6,559万4,316円となり、生活困窮世帯・長期療養患者・災害遺児家庭、道内児童福祉施設、不登校児支援施設等への見舞金をはじめ、地域における高齢者や障がい者世帯への在宅福祉サービス事業費として助成（配分）した。

2. 本年度の主な広報、顕彰事業

（1）道内プロスポーツチームとのタイアップ事業

「赤い羽根サポーター宣言」を合言葉にして、北海道日本ハムファイターズ・コンサドーレ札幌・レラカムイ北海道の協力（募金活動や各種イベントへの参加、オリジナルグッズの作成等）により、募金増強に向けた取組みを実施した。

募金実績（選手や監督によるヒット募金や勝利数募金など）としては、総額で約108万円となった。

また、北海道日本ハムファイターズの協力により、道内各地域におけるそれぞれのイベント会場において、「赤い羽根キャンペーン」として募金ブースを設けて、赤い羽根共同募金のPR・募金活動も行い、26市41町村、合計152件実施され、600万円を超える実績があった。



（2）赤い羽根「自動販売機」の設置事業

年間を通じての募金並びに運動啓発が可能な「赤い羽根の清涼飲料水自動販売機」について、NPO法人並びに飲料メーカー（3社）と連携を図り、赤い羽根のロゴマーク入りの自動販売機を道内11市12町村に70台設置（寄付金総額約115万円）設置した。

(3) 運動スローガン・ポスターの掲出

本年度の運動スローガンは、昨年に引き続き「地域の福祉、みんなで参加」とし、ポスターについては、全道の公共施設や福祉センター、イベント会場などを中心に掲出した。



(4) マスコミ媒体を利用した広報事業

i) 新聞媒体を活用した広報の実施

新聞紙面を活用した啓発啓蒙広報事業を実施した。

ii) NHK 並びに民間放送局の協力による広報

NHKや民放各局の協力により、テレビスポットCM(本年度のポスターデザイン「意思あるお金」と同じデザイナーによる作品、15秒間放映)や、ラジオスポットCM素材の放送を10月1日からの運動期間中に実施した。

また、12月1日には、NHK札幌放送局ロビーにおいて歳末たすけあいセレモニーを実施し、歳末たすけあい募金への協力の呼びかけを行った。

iii) 街頭大型液晶ビジョンによる広報

街頭大型液晶ビジョンを利用して、運動期間中に共同募金テレビスポットの放映を実施した。

iv) 道内マスコミ・道政記者クラブへの資料配布

運動開始前に道政記者クラブに対して報道向け資料を配布(プレスリリース)し、個々の新聞社に対しては、取材要請、記事掲載等要請した。

(5) 各種啓発イベントの実施・関係機関団体への情報提供

i) 「みんなあーと2009」【9月25・26日、10月4日、札幌市】

ii) 「赤い羽根小曲邦舞の会」への協賛【10月18日・道新ホール】

iii) 「赤い羽根テニール北の甲子園大会北海道知事 CUP」の活動支援

【11月22日・札幌ドーム】

iv) 道社会福祉協議会広報誌との連携・市町村への働きかけ

(6) 広報先発行事の実施

i) 赤い羽根空の第一便及び名士による街頭募金



全日本空輸(株)の協力により、10月1日に厚生労働大臣・中央共同募金会長のメッセージと赤い羽根が空の第一便として届けられ、北海道知事室長並びに共募会長らに手渡されたあと、知事室長、札幌市保健福祉局医務監といった名士をはじめ、北海道フットボールクラブ社長並びにコンサドーレ札幌のマスコットキャラクターの「ドーレ君」やレラカムイ北海道のマスコットキャラクターの「クィッキー」、また、ねんりんピック 2009 北海道札幌のマスコットキャラクターの「うっさん」も応援に駆けつけ、道行く市民に運動への協力を呼びかけを行った。

そのほか、千歳・函館・釧路・稚内・旭川・女満別・中標津等の各空港所在地においてもそれぞれ伝達式を実施し、各市長・町長並びに地元共同募金会長にもメッセージを手渡した。

ii) 道内各地において街頭啓発活動等の実施

各地で、街頭募金・啓発活動を実施するとともに、昨年に引き続き募金及び広報活動について企業・商店等の参加と協力を促すため、「赤い羽根協力店」の設置及び普及を図り、百貨店・スーパーマーケット・商店事業所等に協力店看板または協力店ステッカー及び募金箱を設置し、多くの協力をいただいた。

(7) ホームページによる情報提供

道民に向けた情報提供チャンネルとして、大幅にリニューアルし、特に道内プロスポーツチームのタイアップ事業に係るチームごとの各種イベント活動や協力状況等々を掲載し、共同募金ニュースとして、今年度のポスターやテレビCMの紹介、各種イベント情報、助成金のお知らせ、ありがとうメッセージ、また目標額や実績額等の公表等々について、データの追加や更新を行い、ウェブサイトを利用した各種情報提供機能の充実を図った。(写真等の掲出にあたっては、個人情報の保護にも配慮)

(8) 顕彰の実施

i) 本会会長表彰

本会の顕彰規程に基づいた会長表彰について、9月16日、新ひだか町公民館にて北海道社会福祉大会を開催し、表彰状並びに記念品を贈呈した。

◎総受彰者: 279件

- ・永年勤続奉仕者 212名
- ・優秀地区・団体 36団体
- ・永年勤続従事者 16名
- ・優良学校 12校
- ・高額寄付者 3件(個人: 2名・団体: 1団体)



ii) 中央共同募金会会長表彰

中央共同募金会における顕彰規程に基づいた会長表彰について、11月20日、全国社会福祉大会を開催し、表彰状並びに記念品を贈呈した。

◎総受彰者: 14件

- ・共同募金運動奉仕功労者 8名
- ・優秀地区・団体 3団体
- ・共同募金運動従事功労者 3名

iii) 高額寄付者に対する厚生労働大臣感謝状

高額寄付者(個人100万円以上500万円未満、法人・団体300万円以上1,000万円未満)に対する感謝では、1名の推薦を行い、該当する支会分会を通じて、感謝状を贈呈した。

iv) 運動功績者に対する感謝状

当該年度の共同募金運動に功績のあった奉仕者並びに役職員、団体及び学校に対する感謝では、3月26日、平成21年度第2回評議員会の席上において、全道よりの代表者に対して、本会会長より表彰状・記念品を授与した。

◎総受彰者: 123件

- ・個人 31名
- ・団体・学校 92校

Ⅱ 会務運営

(1) 理事会の開催

- ア) 第1回(平成21年5月27日、かでの2・7で開催)
- イ) 第2回(平成22年3月25日、かでの2・7で開催)

(2) 評議員会の開催

- ア) 第1回(平成21年5月28日、かでの2・7で開催)
- イ) 第2回(平成22年3月26日、ポールスター札幌で開催)

(3) 正副会長会議

- ア) 第1回(平成21年5月14日、かでの2・7で開催)
- イ) 第2回(平成21年9月4日、北海道第2水産ビルで開催)
- ウ) 第3回(平成21年11月25日、かでの2・7で開催)
- エ) 第4回(平成22年3月10日、かでの2・7で開催)

(4) 監査(監事監査)

- ア) 第1回(平成21年5月14日、かでの2・7で開催)
- イ) 第2回(平成21年11月10日、かでの2・7で開催)
- ウ) 第3回(平成22年3月9日、かでの2・7で開催)

Ⅲ 民間社会福祉資金の総合調整

JKAの補助事業や中央競馬馬主社会福祉財団助成事業等への推薦業務を行った。
また、共同募金以外の特定指定寄付金の受け入れ並びに助成(配分)も実施した。